

校訓	真善美	令和6年度 学校だより	発行日	令和6年6月24日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 -感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる-	「荒中だより」 6月 水無月 第12号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【6月27、28日の1学期期末テストにむけて本気で取り組んでいますか？】

勉強中です



先週の土曜日とその1週間前の2回、地域の方が協力くださった土曜スクールがありました。先週は1週間前ということもあり部活動がないため約30名の参加がありました。休日の時間の使い方は自分で決めます。立てた目標を達成するためにどこまで本気で取り組めたかが大切です。「自分でやる！

と決めたこと」は、自分の精一杯の努力でやりきってみる。できなかったことが、次への課題です。

この繰り返しで、自分のスタイルがつくられていきます。先輩や友達の学習時間の使い方を参考にしながら、本気でチャレンジすること、取り組むことが、小さな一歩につながり、コツコツ積み重ねていくことが自信につながります。最初から富士山は登れません。まずは、五月山？甲山？六甲山？公園の築山からでもいいのです。

自分の足で一步一步登る力をつけてください。自分の足で登るから自分にしか見えない景色が広がるのです。♪青垣成せる北摂の 山脈はるか木々は萌え♪

【教育実習生のみなさんにインタビューしました】

Q. 目指す教師像？

A. メリハリをつけられる教師。楽しみつつテキパキとした授業をして、休憩時間は生徒とできるだけたくさんコミュニケーションをとれる教師。生徒に寄り添える教師。自己成長し続ける教師。生徒の見本となり成長し続ける意欲のある教師。生徒ひとりひとりに寄り添い、尊敬される教師。生徒から真っ先に頼られる教師。生徒にたくさんの経験や挑戦ができる環境のつくれる教師。生徒を支えられる教師。生徒の意見を尊重し、サポートのできる教師になりたい。大学で学んだ知識をもとに、様々な視点があることを共有し、生徒の選択肢や視野を広げるサポートがしたい。それにより、自分自身や他人の良いところを見つけ尊重できるような生徒指導のできる教師。子どもの良いところを見つけ、ほめて伸ばし、可能性を色手上げられるような教師。

【荒牧中土曜スクール・図書室にて】

休日は、自分で時間割を立てる日です。テスト前の学習時間をどう組み立て、使うか『自ら考え、行動』ですよ。

